

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域とのつきあいでは、立地条件が住宅地ではないため、日常的な地域との付き合いが希薄になっている。	特別な行事や定期的な買い物日に限らず、散歩に出たり、郵便物を出しに行くなど、日常的に地域に出ていくように、機会を増やしていく。	常時施設内だけで過ごすのではなく、施設周りの掃除や、ちょっとした用事で、入居者さまが外出できる機会を増やすよう職員が意識する。	6ヶ月
2	33	重度化や終末期の対応に入居時に話しているが施設としての方針が文書化されていないため、わかりにくい。	重度化や終末期の対応を職員で認識を一致して、入居者本人や家族に理解しやすいよう、文書化していく。	施設としての重度化、看取り介護の方針を文書化する	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。